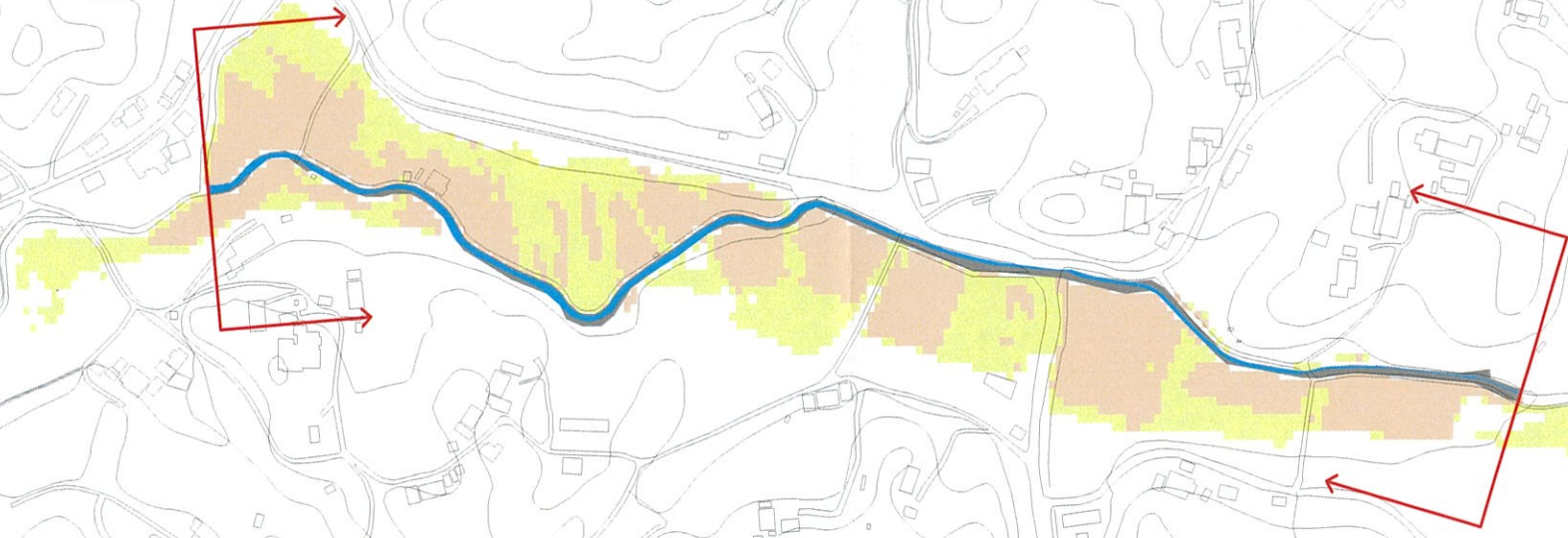


淀川水系片岡川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



宇陀市



凡例

- 浸水した場合に想定される水深（ランク別）
- 0.5m以上 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる河川の区間

1 説明文

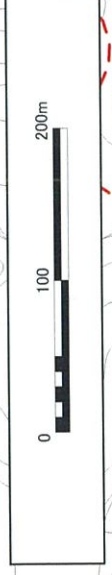
(1) この図は、淀川水系片岡川について、水防法の規定により想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の片岡川の河床及び洪水調節施設の状態をシミュレーションにより予測したもので、規模降雨に伴う洪水により片岡川が氾濫した場合の洪水の状態をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの条件にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、暴潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	奈良県土木マネジメント部河川整備課
(2) 指定年月日	令和6年 月 日
(3) 発注番号	奈良県発注番号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第103号）第14条第2項
(5) 対象となる河川	・淀川水系片岡川（実施区間） 左岸 宇陀郡大宇陀町大字上片岡字小幡台376番地から四郷川への合流点まで 右岸 宇陀郡大宇陀町大字上片岡字轟高418番地から四郷川への合流点まで
(6) 指定の前提となる降雨	淀川流域の9時間総雨量 300mm
(7) 関係市町村	宇陀市

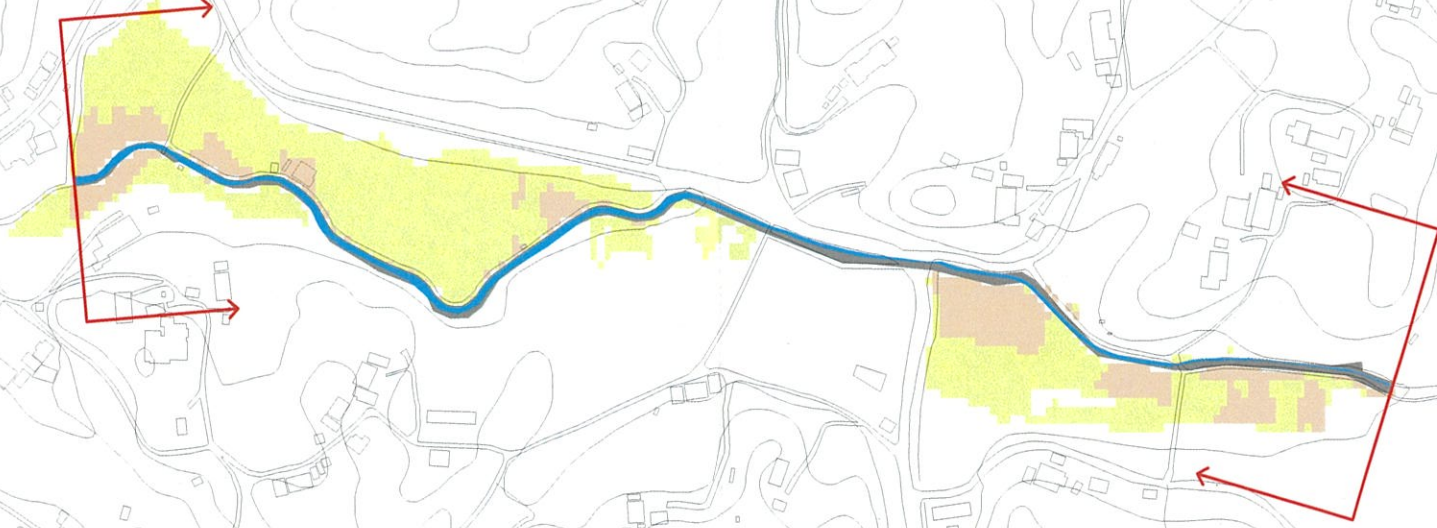


測量法に基づく国土地理院長承認使用)R4.JHs 669

淀川水系片岡川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)



宇陀市



凡 例

- 浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
- 0.5m以上 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる河川の区間

1 説明文

(1) この図は、淀川水系片岡川の奈良県管理区間について、水防法の規定を準拠し、計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、公表時の片岡川の河川及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防備に関する計画の基本となる降雨である概ね1時間雨量63mm程度の大雨に伴う洪水により片岡川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実態にあたっては、淀川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える降雨による氾濫、濁流及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 奈良県土木マネジメント部河川整備課
- (2) 公表年月日 令和6年 月 日
- (3) 告示番号 奈良県告示第 号
- (4) 根拠法令 水防法 (昭和24年法律第193号) 第14条第3項を準拠
- (5) 対象となる河川 淀川水系片岡川 (実施区間)
左岸 宇陀郡大字上片岡字小幡台376番地から田郷川への合流点まで
右岸 宇陀郡大字上片岡字越橋418番地から四郷川への合流点まで
- (6) 算出の前提となる降雨 淀川流域の9時間降雨量 170mm、ピーク時の1時間に63mmの降雨がある場合
- (7) 関係市町村 宇陀市 関係市町村



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4.JHs 669

淀川水系片岡川 洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



宇陀市



凡 例

- 浸水継続時間 (浸水深0.5m以上) (ランク別)
- 12時間未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる河川の区間

1 説明文

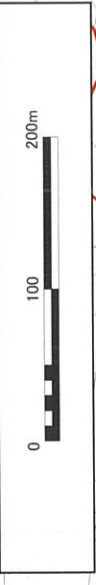
(1) この図は、淀川水系片岡川について、水防法の規定に基づき洪水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、公衆時点の片岡川の河堤及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模の降雨に伴う洪水により片岡川が冠水した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、至川の流域による冠水、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨による冠水、高潮及び内水による冠水を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

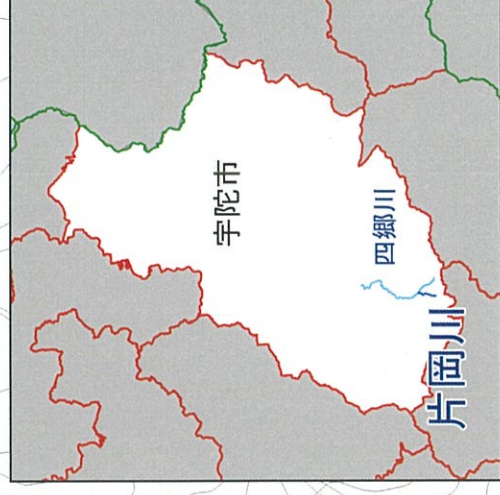
2 基本事項等

奈良県土木マネジメント部河川整備課	令和5年	月	日
委員報告書	第	号	
水防法 (昭和24年法律第103号) 第14条第3項			
(5) 対象となる河川	・淀川水系片岡川 (実施区間)		
	左岸 宇陀郡大宇陀町大字上片岡字小柳谷376番地から四郷川への合流点まで		
	右岸 宇陀郡大宇陀町大字上片岡字豊瀬418番地から四郷川への合流点まで		
(6) 算出の前堤となる降雨	淀川流域の9時間総雨量 380mm		
(7) 関係市町村	宇陀市		



測量法に基づく国土地理院長承認(使用R/LJHs 689)

淀川水系片岡川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



宇陀市

宇陀市

四郷川

片岡川



- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
(氾濫流によるもの)
 - 市町村境界
 - 河川等範囲
 - 対象となる河川の区間

1 説明文

(1) この図は、淀川水系片岡川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公家町等の片岡川の河床及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により片岡川が氾濫した場合の氾濫流の状態をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算出しており、(3)の条件に加え、倒壊する家屋は直線距離の標準的な家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない地帯の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等

(1) 作成主体 奈良県土木マネジメント部河川整備課

(2) 公業年月日 令和5年 月 日

(3) 対象となる河川 淀川水系片岡川(実施区間)
左岸 宇陀市宇陀町大字上片岡字小柳谷376番地から四郷川への合流点まで
右岸 宇陀市宇陀町大字上片岡字豊瀬418番地から四郷川への合流点まで

(4) 算出の前段となる降雨 淀川流域の8時間総降雨量 380mm

(5) 関係市町村 宇陀市 関係市町村



淀川水系片岡川 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))



宇陀市

宇陀市

四郷川

片岡川



- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
(海岸侵食によるもの)
 - 市町村境界
 - 河川等範囲
 - 対象となる河川の区間

1. 説明文
 (1) この図は、淀川水系片岡川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を示した図面です。
 (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の片岡川の河堤及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により片岡川の河堤が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることを留意して下さい。
 2. 基本事項等
 (1) 作成主体 奈良県国土マネジメント部河川整備課
 (2) 公表年月日 令和5年 月 日
 (3) 対象となる河川 淀川水系片岡川(実施区間)
 左岸 宇陀市大字宇陀町大字上片岡字小幡谷376番地から四郷川への合流点まで
 右岸 宇陀市大字宇陀町大字上片岡字轟溝418番地から四郷川への合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 淀川流域の9時間総雨量 380mm
 (5) 関係市町村 宇陀市



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4-JHs 669